

セミナー「建築火災安全設計の考え方と基礎知識」

主催：日本建築学会近畿支部（企画：防災計画部会）

協賛（予定）：日本建築協会、近畿建築士会協議会、大阪建設業協会、日本建築材料協会、
日本建築家協会近畿支部、日本建築士事務所協会連合会近畿ブロック協議会、大阪電業協会、
日本建築構造技術者協会関西支部、大阪空気調和衛生工業協会、大阪建築技術協会
建築設備技術者協会近畿支部、日本建築積算協会関西支部、関西建築構造設計事務所協会
日本建設業連合会関西支部、大阪府設備設計事務所協会、日本建築総合試験所
大阪建築防災センター、日本火災学会、日本防火技術者協会

開催趣旨：

建築防火法規は用途や規模に応じて建築部材や防火設備の仕様を定めているが、大規模化や用途・機能の多様化が進む現在建築物においてその火災安全設計も複雑化しており、規則に従うだけでは十分な火災安全性能を備えることができないことがある。防火技術者などの専門家が火災安全設計に対応するとしても、設計の最終段階では大幅な内容変更は殆ど不可能なため、初期の段階から火災安全設計に関わる要件を設計に盛り込む必要がある。

本セミナーは、火災安全設計の基本的事項について、その防火技術が導入される経緯となった背景も含めて平易に記述した図書（2018年度に日本建築学会から刊行予定）の紹介を行う。読者は建築設計者や建築を学ぶ大学院生などの火災安全設計初学者を想定しており、火災安全的に健全な状態を理解した上で、建築デザインを進める一助となれば幸いである。

プログラム（予定）：

司会 角谷三夫（関西防災研究所、防災計画部会・幹事）

1) 主旨説明（13:00～13:10）

建築火災安全設計を取巻く状況について 田中哮義（京都大学名誉教授、防災計画部会・主査）

2) 各分野解説

(1) なぜ防火設計が必要かー火災の実態と人間行動（13:10～13:40） 秋月有紀（富山大学）

(2) 火災の現象と煙制御の手法（13:40～14:20） 仁井大策（京都大学）

(3) 初期火災対応と延焼拡大防止の方法（14:20～14:50） 小林陽一（安井建築設計事務所）

休憩（10分）

(4) 設計者がおさえておくべき避難安全設計（15:00～15:30） 久次米真美子（日建設計）

(5) 火災の被害を少なくするためにー耐火と消防（15:30～16:00） 吉田正友（大阪工業大学）

(6) 質疑応答（16:00～16:15）

3) 総評（16:15～16:30） 田中哮義（前出）

日時：2018年3月29日（木）13:00～16:30

場所：大阪科学技術センター4階 401号室（大阪市西区靱本町1-8-4）

定員：100名（申し込み先着順）

参加費：主催／協賛団体の会員：3,000円、その他：4,000円（テキスト代含）
（会場にて徴収します）

申込方法：E-mailまたは当支部HPにて、氏名・所属・会員区分（所属団体名、会員番号）・E-mail
・TELを明記のうえお申込み下さい。

申込先・問合せ先：日本建築学会近畿支部 TEL：06-6443-0538 / FAX：06-6443-3144

E-mail：aij-kinki@kfd.biglobe.ne.jp ホームページ：http://kinki.aij.or.jp